

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書（実績）					
提出区分	実績	整理番号	7	課題区分	C
横断的な課題	収益性の高い農業・国際競争力の高い観光業の振興				
地域重点政策	北信州の自然を活かした、収益性の高い農業・国際競争力の高い観光業の振興				
実施機関	北信地域振興局		担当課	所属	商工観光課
事業名	「秋山郷」情報発信事業			電話	0269-23-0219
				E-mail	hokuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	長野県栄村と新潟県津南町にまたがる「秋山郷」について、首都圏において情報発信を行うことで、観光客及び交流人口の増加を図る。			
	現状と課題	・秋山郷は、長野県栄村と新潟県津南町の中津川沿いにまたがる地域で、日本秘境100選の一つ。秋の紅葉シーズンを中心に誘客を行ってきたが、村の人口減少、事業者の高齢化や後継者難、震災（H23）やコロナ禍等により、事業者の観光誘客への意欲が失われつつある。 ・令和4年度から首都圏で秋山郷に関するPRイベントを実施したところ、参加者から高評価（令和5年度アンケート満足以上100%）。イベントを通じ、秋山郷のマタギ文化等、国内でも希少な山村文化が新たな観光資源になり得ることがわかった。引き続き情報発信を行うとともに、栄村と協働して魅力の掘り起こしを行うことで秋山郷の振興策に取り組む必要がある。			
	内容 (変更後の内容)	栄村と連携し、首都圏でイベントを開催することで、観光客及び関係人口の増加を図る。 【概要】 ・秋山郷情報発信イベント（県主催1回） 日時：令和6年11月24日 場所：銀座NAGANO 2階イベントスペース（東京都中央区銀座5丁目6-5 NOCOビル） 講師：白水智氏（中央学院大学教授/地域史料保全有志の会） 福原和人氏（小赤沢民宿出口屋・マタギ） 福原とも子氏（栄村役場秋山郷総合センター「とねんぼ」職員） 料理提供：稲見朋子氏（雪国たべごと研究室） イベント内容：豪雪、マタギ、ジビエ等秋山郷独自の暮らしや文化、観光の情報発信 参加者数：19名			
	事業期間	令和6年4月 ～ 令和7年3月			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	「秋山郷」情報発信事業	首都圏においてイベントを開催し情報発信	354,117	講師謝金82,650 (@6,450X3h、@5,350×3H、@3,150×10H、@3,150×5H)、講師旅費57,834、職員旅費150,590、公用車燃料、消耗品費等41,754、郵送代等15,052、資料作成委託6,237	
	合 計		354,117		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	アンケートによる研修会の満足度（5段階中4以上）		8割以上	95%	◎ 達成 ○ 一部達成 ○ 未達成
事業実績・成果	・秋山郷情報発信イベント(11月24日(日)銀座NAGANO)では研究者と現地案内人、マタギが文化、山の暮らし、観光の魅力を発信。参加者数19名(申込25名、キャンセル6名)、当日アンケートにて大変満足14名(74%)、概ね満足4名(21%)、無回答1名(5%)。 ・前年度イベントと同じテーマで実施。前年度より更に深い内容となるよう意識しながら関係者で複数回事前打ち合わせを実施。当日は希少な狩猟道具等を展示し、関心を引くよう工夫した。 ・大学や移住関連機関、メディアにチラシを送付することで、繰り返し秋山郷を訪れていただけた。 ・秋山郷に残る山村文化等、全国的にも希少なコンテンツを含めた様々な側面からの秋山郷の情報を発信することで、認知度及び魅力向上が図られた。				
今後の方向性	栄村が主体的に秋山郷の情報を発信できるよう人的支援を継続する。				